

4) 総合型地域スポーツクラブ・マネジメントの仕組み

社会や地域の環境の変化により、地域住民をはじめとする人々の「こんな運動・スポーツがしたいなあ……、こんなクラブがあったらいいなあ……」というようなニーズ・欲求(ウォンツ)¹は大きく変化・多様化し、その受け皿となる組織も様々な形式で誕生しつつある。

そのひとつの形でもある総合型クラブを取り巻く環境も変化し続けているが、地域住民のニーズや欲求に応えるべく、経営資源であるヒト(正会員²、運営スタッフ、ボランティアなど)、モノ(スポーツ施設、用具・用品など)、カネ(正会員費、参加料、寄付金、助成金・補助金など)、情報などを効率的に分配し、どのような人々を対象として、どのような事業を進めていくのかというビジョンに沿って、遂行していかねばならない。

その際、クラブのミッション(使命)を見据えた上で、そのクラブに影響を与える外部環境³についての分析(PEST⁴)が必要になる。つまり、競合する組織の存在や誰が受益者で、どのようなニーズや欲求をもっているのかということなど、戦略を立てるうえで多くのマーケット情報を収集し、分析を行うのである。

さらに、事業を提供する側としては、組織の内部環境である経営資源の分析を行い、能力に見合った組織と仕組みをつくり、戦略を立て、

人を動かさねばならない。これが、マネジメントなのである。つまり、クラブの事業を展開するためには外部環境を正確に分析することが、経営資源の確保、分配、運用そして蓄積につながることであり、マネジメントの成果を大きく左右する。

以上のような流れによって、戦略的なプログラム・サービスの提供がなされ、利用会員は、参加料というお金や、貴重な時間、参加するエネルギーなどと引き換えに、プログラムに参加するのである。当然、プログラムに参加すれば、評価がなされ満足または不満足が導かれる。あまりにも不満が継続すれば、参加しなくなり、最終的にはクラブを退会することになる。

多くの利用会員・正会員をマネジメント・サイクル⁵の実践によって満身に導き、継続的に参画する利用会員や積極的に運営に参画する正会員を増やす仕組みをつくることは、継続的に快適なクラブライフを送ることにもつながる。

クラブマネジャー・アシスタントマネジャーにとって、マネジメントの基本的な仕組みを理解することは非常に重要である。さらに、クラブに必要なスタッフがそれぞれの役割に専念できるような環境を整備することも含め、健全なマネジメントの実践力を身に付けることは必要不可欠である。

1. ニーズ・欲求(ウォンツ)
ニーズとは先天的な必要性、ウォンツとは、後天的に形づくられた欲求をいう。

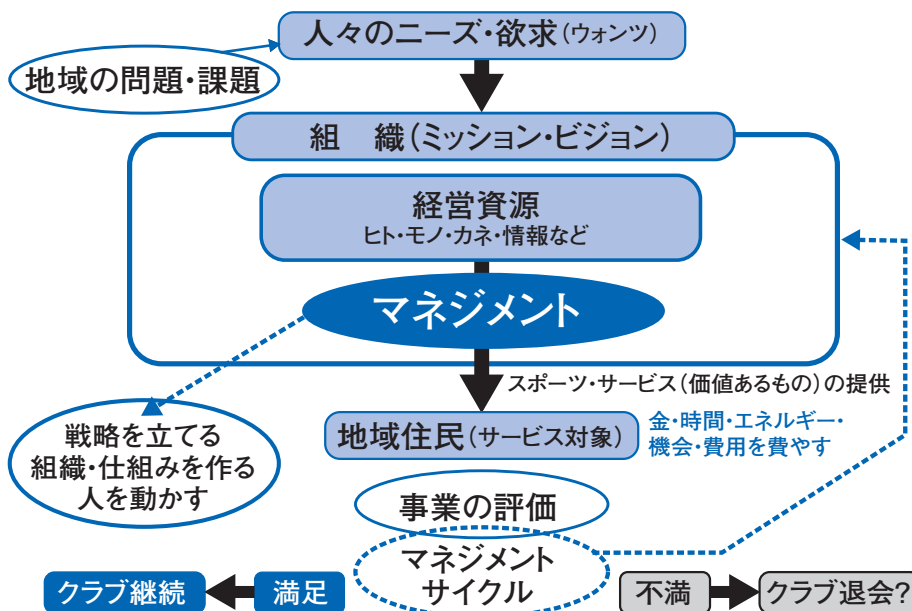
2. 正会員
32ページを参照。

3. 外部環境
地域住民(消費者)、競合する組織、経営環境など。

4. PEST
外部環境の政策的要因(Political)、経済的要因(Economical)、社会的要因(Social)、技術的要因(Technological)についての分析。

5. マネジメント・サイクル
事業計画の立案(Plan)や実施(Do)はもちろんのこと、実施後の評価(Check)の後、必要に応じて次回に向けての修正活動(Action)を行い、次の立案に活かすという一連の流れ。PDCAサイクルとも呼ばれる。

総合型地域スポーツクラブ・マネジメントの仕組み



(松永、2006を修正)

Copyright 2023 JSPO All rights reserved.